

稲作情報 No.4

麦成熟期予測・水稻の初期生育確保

水田農業レベルアップ委員会 技術普及推進部会 [作成: 福井県農業試験場、福井米戦略課、JA福井県中央会]

【概況】

大麦の平坦部の出穂期の盛期は4月10日頃となりました。

早生品種を中心に田植えが順調に進んでいます。収量確保のためには、移植後1か月の初期生育の確保が重要です。

[大麦]

- ・圃場内にカラスノエンドウの発生が確認された場合は、早めに手取り等を実施しましょう
- ・成熟期盛期の予測は、平坦部で5月25日頃、奥越地区で6月3日頃となる見込みです

[水稻（初期生育確保のために）]

- ・初期の分けつが増え難くなるため、老化苗の移植は避け、葉齢2.5程度の適期苗の移植を心掛けましょう
- ・安定して穂数を確保し、収量の増加につなげるため、**栽植密度は60株/坪以上**にしましょう
- ・植付後は、分けつしやすいよう浅水管理（水深3cm程度）を実施しましょう

【麦圃場内のカラスノエンドウに注意！】



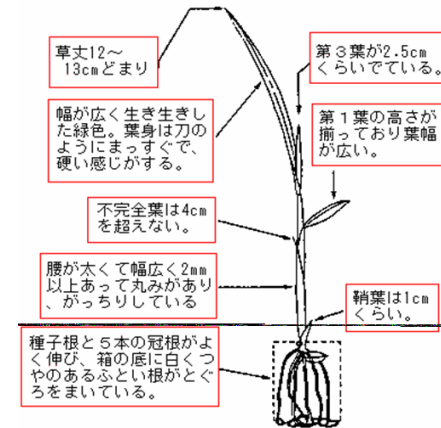
圃場に発生したカラスノエンドウ
(左:4月末撮影・右:成熟期時)

【成熟期の目安】

出穂期から毎日の平均気温を積算して750℃になる頃

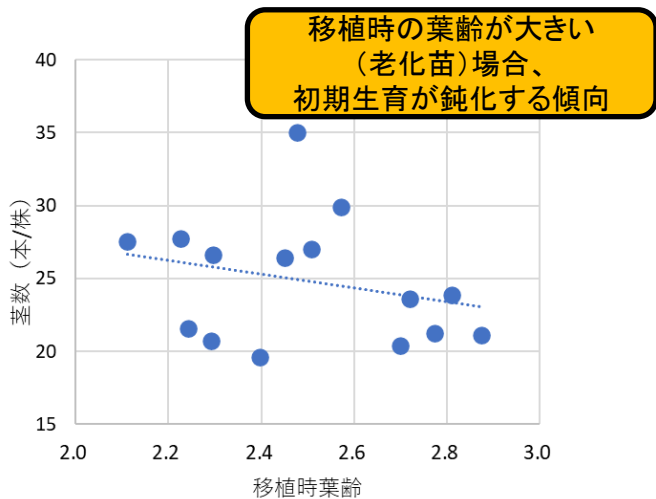


【理想的な苗姿】

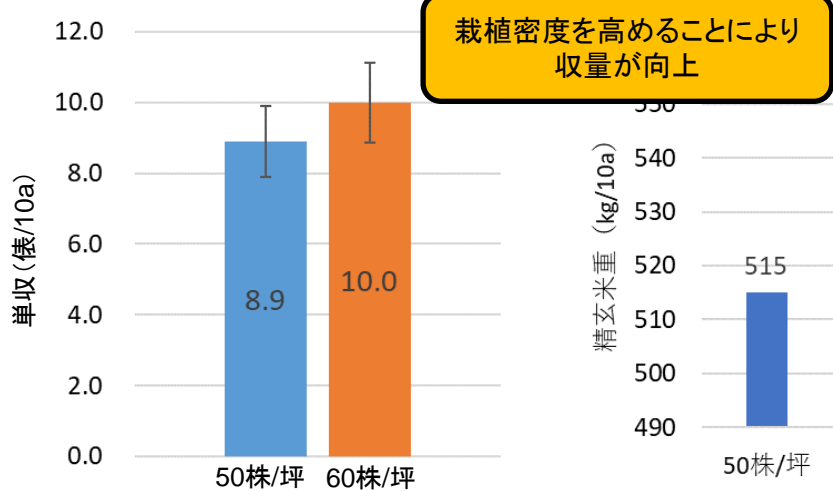


【水稲の初期生育確保のために】

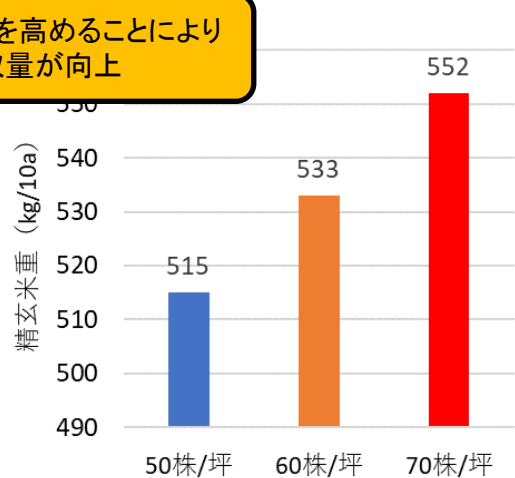
- ・ 適期に田植えを行い、老化苗の移植を避けましょう
- ・ **栽植密度は60株/坪以上にしましょう**
- ・ 植付後は、浅水管理（水深3cm程度）とし、分けつを促進させましょう



移植時葉齢と移植1か月後の茎数の関係
(農試5/20移植コシヒカリ 2010~2024)



栽植密度と収量の関係性
(令和6年産 福井県内シャインパール成績)



栽植密度と収量の関係性
(富山県5月中旬移植コシヒカリ 2005,2006の平均値※)
※守田ら(2011)論文より作図

気象予測

1か月予報 (2026年5月7日発表) の解説 新潟地方気象台

向こう1か月の天候の見通し
北陸地方 (5/9~6/8)

予報のポイント

- ・ 暖かい空気に覆われやすいため向こう1か月の気温は高く、特に2週目はかなり高くなる可能性があります。

		1週目 5/9~5/15	2週目 5/16~5/22	3~4週目 5/23~6/5
天候		天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。	天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
北陸地方		低20 並50 高30% 平年並の見込み	低10 並10 高80% 高い見込み	低10 並30 高60% 高い見込み
平均気温	数値は予想される出現確率 (%) です			